

予防接種とホメオパシーを始めとする代替医療

1. 厚生労働省のいう「予防接種の定義」

予防接種はこれまで、天然痘の根絶をはじめ、ポリオの流行防止等、多くの疾病の流行の防止に大きな成果をあげ、感染症による患者の発生や死亡者の大幅な減少をもたらすなど我が国の感染症対策上極めて重要な役割を果たしてきた。

感染症が著しく蔓延し、大きな被害を与えていた時代が過ぎ去り、今日ではその流行が急速に減少し、予防接種によって獲得した免疫が感染症の流行を抑制していることが忘れられてしまいがちとなっている。

しかし、予防接種により国民全体の免疫水準を維持するためには、予防接種の接種機会を安定的に確保するとともに、社会全体として一定の接種率を確保することが重要である。

2. 法律による予防接種

予防接種法及び結核予防法による定期の予防接種は市町村長が行うこととされており、予防接種法に基づく一類疾病及び結核予防法に基づく結核の予防接種の対象者は予防接種を受けるよう**努めなければならない**こととされている。予防接種法に基づく二類疾病の予防接種の対象者については**努力義務が課されていない**。

また、予防接種法に基づく臨時の予防接種は、都道府県知事が行い、または市町村長に行うよう指示することができることとなっており、**当該予防接種の対象者は予防接種を受けるよう努めなければならない**。

3. 予防接種のスケジュール

別紙参照

4. ワクチンの成分

- ・ 水銀(有機水銀チメロサル、防腐剤として使用) ※インフルエンザワクチンに含まれている
- ・ アルミニウム
- ・ ホルムアルデヒド
- ・ ポリソルベート80(ネズミでは不妊になる)
- ・ グルタミン酸ナトリウム(MSG) ※吸引タイプのインフルエンザワクチンに含まれている
- ・ スクワレン(免疫補助剤)
- ・ ステルス・ウイルス(未知の癌ウイルス)
- ・ 豚や牛のゼラチン ※アナフィラキシー反応を引き起こす、MMR、水疱瘡、帯状疱疹ワクチンに含まれている
- ・ 他に動物の細胞や動物の内臓等

5. 世界の予防接種事情

アメリカ: 州により内容に若干の相違はあるが、義務宗教上の理由での拒否は認められている)

アメリカで子どもが全てのワクチンを受けると、最大35回の接種を行うこととなります。それには113種類の病原粒子、59種類の化学物質、4種類の動物細胞・DNA、中絶胎児の細胞から取り出した人間のDNA、人

アルブミンが含まれています。

オーストラリア:義務ではないが、2017年から拒否した場合は、児童手当の支給を止められることになった。

ドイツ:義務ではない。

フランス:DTP(三種混合)のみ義務、但し、幼稚園、小学校入学手続きの際に、予防接種歴の提示が求められます。

イギリス:義務ではない。

6. 予防接種の副反応にはどんなものがあるか？

- ・ 接種したところが赤くなる
- ・ 発熱
- ・ ポリオや結核の発症
- ・ その他

7. 予防接種のメリットとデメリット

予防接種賛成派と反対派では、そもそもメリットとデメリットの主張が異なります。

賛成派のメリットとしては、

- ・ 感染した場合の重症化や重篤な後遺症のリスクを防ぐ

双方共通のデメリットは、

- ・ 副反応(但し、その副反応に対する懸念や重要性は両方で捉え方が全く違う)

反対派のデメリットとしては、

- ・ ワクチン接種によって引き起こされる症状/状態を自分ではコントロールできない。
- ・ ワクチンで100%感染症の予防はできない。

8. ワクチン接種・未接種の比較調査

- ・ ワクチンを接種した子供のぜんそく罹患率は120%増
- ・ ワクチンを接種した男児のADHD罹患率は317%増
- ・ ワクチンを接種した男児の神経疾患罹患率は185%増
- ・ ワクチンを接種した男児の自閉症罹患率は146%増
(女児は、調査対象のうち20%のみの調査のため確定ではない)

9. 神経組織とワクチンの深い関係

10. 予防接種をした場合にホメオパシーでできること

予防接種の前後に特定のレメディーを投与することにより、副反応を減らし、排毒を促すと言われている。
前日に一粒、当日に一粒、以後三日間(一日に一粒)で合計五日間飲む。

11. ホメオパシー的予防法

病気が流行しているときに、お子さんにホメオパシー薬を予防的に飲ませたい場合は、以下の指示に従って与えることをオススメします。もっとアドバイスが欲しい場合、また記載されていない病気に関する情報を知りたい場合は、ホメオパスにご相談ください。

水疱瘡	Varicella 30C
三日はしか(風疹)	Rubella 30C
はしか	Morbillinum 30C
おたふく風邪	Parotidinum 30C
百日咳	Pertussin 30C

※ どの病気の予防にも、該当するレメディーを一粒与えてください。最初の週は12時間毎に3回与えます。(つまり、24時間以上かけて3回投与します)。翌週にも1回。当該の病気が流行中は1週間に1回与えます。

幸いなことに、これらの病気は同時期に流行はしないようです。いずれの場合にも、これらの病気のレメディーを一度に2種類与えないでください。

12. ホメオプロフィラクシス(ホメオパシー版予防接種)

13. 予防接種を受けても受けていなくてもそれらの感染症に罹患した場合のホメオパシー

それぞれの感染症に対して効果があると言われているレメディーを症状などに考慮しながら適宜与える。

14. オーストラリアンブッシュフラワーエッセンスでの方法

Purify Essence(Bush Iris, Dagger Hakea, Dog rose and Wild Potato Bush)を利用する。

腸、リンパ系組織、肝臓、腎臓などに働きかけ、重金属をはじめとして身体に取り込まれている毒素を取り除く効果がある。

15. 免疫力をつけること

《付録》

➤ 水疱瘡

- ◆ Aconite, Belladonna, Ferrum phos
 - ・初期の発熱に
- ◆ Antimonium crudum
 - ・落ち着かない、満足させるのが不可能
 - ・一人にしてほしい
 - ・舌が白いもので厚く覆われている
 - ・咳または気管支炎を伴う
- ◆ Antimonium tart
 - ・眠い、不活発な、哀れ
 - ・咳または気管支炎を伴う
 - ・発疹が出るのはゆっくり
 - ・膿のある発疹
 - ・吐き気を伴う
- ◆ Pulsatilla
 - ・メソメソ泣く、愛情と仲間が必要
 - ・暖かいのが嫌い、新鮮な空気を好む
 - ・喉の渇きと熱はないかもしれない
- ◆ Rhus tox
 - ・強いかゆみと落ち着きのなさ
 - ・痒くて寝返りばかりうつ
 - ・もしかゆみだけが症状なら、考えるべき良いレメディー

※咳がある場合は、必ず舌をチェックして、Anti-crud か Anti-tart のどちらかが必要

ポーテンシーとリピート

12C~30C を3時間から4時間ごとに数日間

➤ 麻疹(はしか)

- ◆ Aconite
 - ・突然の発症
 - ・高熱、赤い目、落ち着きのなさ、不安、恐怖

・乾燥と犬が吠えるような咳

◆ **Belladonna**

- ・突然の発症
- ・高熱、赤い目、てかっただ赤い顔
- ・哀れで、イライラしたムード

◆ **Ferrum phos**

- ・最初は熱があり、ピンク色の頬、他にいくつかの症状がある

ポーテンシーとリピート

120~300を1時間から5時間ごとに最初の数日間

◆ **Apis**

- ・赤いむくんだ熱い顔/体/特定の冒された部位
- ・熱い空気に症状が悪化、涼しい環境を好む
- ・喉が渇かない:尿が出ないかも

◆ **Byonia**

- ・ゆっくり発症する
- ・動くと悪化すると感じる
- ・喉が渇く、とても乾燥した喉
- ・一人になりたい
- ・熱は不快にさせる
- ・発疹はゆっくり出る
- ・上記の症状を伴う咳、特にもし発疹がゆっくり出るなら

◆ **Euphrasia**

- ・目の周りが赤い
- ・焼けるような涙:光にとっても敏感
- ・鼻からの刺激のない分泌物

◆ **Gelsemium**

- ・ゆっくり症状が進む
- ・どんよりした、眠い、手足が重い感覚
- ・喉が渇かない

- ◆ Kali bic
 - ・濃い糸を引く、ヒモみたいな黄緑がかった分泌物が鼻と耳から出る、または肺から上がってくる
 - ・痰を吐き出すことが難しい
 - ・首のリンパ腺が腫れる

- ◆ Pulsatilla
 - ・メソメソ泣く、くつつく、仲間がほしい
 - ・窓を変えておきたい、空気が必要
 - ・喉が渇かない
 - ・濃い黄色の分泌物が鼻から出る、咳が伴うことも
 - ・耳も冒される

ポーテンシーとリピート

12C~30C を3時間から5時間ごとに1日に6回まで

➤ おたふく風邪

- ◆ Aconite, Belladonna, Ferrum phos
 - ・おたふく風邪の初期に
 - ・この三つのうちのどれかが合う場合が多い

- ◆ Lachesis
 - ・左のリンパ腺が腫れて、非常にちょっと触られることにも敏感

- ◆ Mercury
 - ・非常に汗をかき、唾液が出る
 - ・非常に口臭がする

- ◆ Pulsatilla
 - ・腫れた睾丸(片方または両方)
 - ・熱で悪化、冷たい(涼しい)方が良い
 - ・仲間が欲しい、メソメソ泣く

- ◆ Rhus tox
 - ・左側が腫れる

- ・寒い湿った天候で悪化
- ・落ち着かない

ポーテンシーとリピート

12C~30C を3時間ごとに3回~6回

➤ 百日咳

初期

◆ Aconite

- ・高熱の初期、不安と非常な落ち着きのなさが伴う
- ・犬が吠えるような咳、特に真夜中、不安が伴う

◆ Arnica

- ・ひどいくすぐったい咳
- ・咳が始まる前にしばしば泣く
- ・目の血管が咳から赤くなる
- ・他の段階でも同じ症状があれば役立つレメディー

◆ Belladonna

- ・突然の高熱、イライラが伴う
- ・乾燥した犬の吠えるような咳、夜に悪化、キラツとした赤い顔
- ・頭が爆発するみたい
- ・喉の乾燥、けいれん性の咳の原因となる
- ・喉を掴むような仕草

第二ステージ

◆ Coccus cacti

- ・大量の濃い白い粘液、吐き出すのが難しい
- ・白い濃い粘液が口にいっぱい
- ・けいれん性の咳、特に朝、糸を引くような白い粘液を出す
- ・涼しくいることを好む
- ・冷たい水はけいれんを半分にするかもしれない
- ・吐き気が伴う

◆ Drosera

- ・百日咳のメインレメディー
- ・咳は横になるや否やすぐ出る
- ・声がれ、吠えるような、金属的な味がする咳
- ・咳に伴い鼻血が出る
- ・咳で腹痛-肋骨の下に手を当てる
- ・話すこと、歌うこと、笑うことで咳は悪化
- ・咳とともに濃い粘液を吐く

◆ Ipecacuanha

- ・咳の間に鼻と口から出血
- ・咳に伴って吐き気と嘔吐
- ・百日咳とけいれんがチアノーゼに伴う
- ・出血と吐き気と喘鳴はこのレメディーの必要性を示している
- ・けいれんは、凝りと呼吸困難とチアノーゼを伴う
- ・ピンク色の舌(何かに覆われていることはない)、大量の唾液

第3ステージ

◆ Antimonium tart

- ・胸にガラガラする痰がある、とても吐き出すことが難しい
- ・食べることと怒りが咳を悪化させる

◆ Pulsatilla

- ・濃い黄色の粘液、特にメソメソ泣き、くっつく子どもなら
- ・子供は、涼しい、外気を好み熱を嫌う

ポーテシーとリピート

30C で3~4時間ごと8回まで

◆ Sulphur

- ・もし、回復が遅い場合
- ・子どもが疲れていて、だらけて加熱を嫌う

ポーテンシーとリピート

30C は3時間ごとに3~4回